

建設環境委員会

平成29年9月14日（木）

午前10時02分～午前11時16分

議会第4会議室

【出席委員】野中宣明委員長、松永幹哉副委員長、山下伸二委員、中山重俊委員、  
川原田裕明委員、千綿正明委員、嘉村弘和委員、黒田利人委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・上下水道局 田中上下水道局長
- ・建設部 志満建設部長、堤道路管理課長、姉川道路整備課長
- ・環境部 喜多環境部長、本山バイオマス産業都市推進課長 ほか、関係職員

【案件】

- ・付託議案について

○野中宣明委員長

それでは、これより建設環境委員会を開催いたします。

委員会の審査日程について、お手元に配付しております審査日程案のとおり進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようですので、この審査日程どおり審査を行います。

建設部、環境部は退席されて結構です。

◎執行部退室

○野中宣明委員長

それから、付託議案に関連して、現地視察を希望される場合は審査終了までにお申し出をいただきたいと思います。

それでは、上下水道局に関する議案の審査に入ります。

まず、第79号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第79号議案 平成28年度佐賀市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、皆様から御質疑をお受けします。

○中山委員

今御説明いただきましたが、減債基金の現在の積立額。それから、建設改良積立金の現在の額を、そして資本金に組み入れた場合の、今の残額はどれぐらいになっているのか、お知らせください。

○松尾上下水道局副理事兼財務課長

減債積立金の残高としては、決算書をお持ちでしょうか。平成29年度、処分をした後の残高が8億7,700万円ほどになります。

それから、建設改良積立金を今回5億2,800万円積み立てますけども、その後、合計が8億5,800万円ほどになります。

資本金については、4億2,700万円ほどを積み立てて、最終的には149億9,200万円が資本金ということになります。以上でございます。

○中山委員

149億円の資本金繰り入れということですが、私はいつも水道料金は高いんじゃないということで、市民の皆さんからお叱りを受けて、何とかならんのかというふうに言われておりますので、そこら辺の仕組みと申しますか、何とかならんのですかね。

○松尾上下水道局副理事兼財務課長

この資本金につきましては、今まで水道事業を開始してから現在まで、減債積立金などを処分して、既に支出をしておりますので、現金の残高としては全然カウントできないので、あくまでも、今おっしゃっているのは、資本金を除いた現金残高としての利益剰余金であったり、積立金ですね。あとは減価償却費もありますけども、そういうものについてが現金の残高となっておりますので、資本金はその中には含まれておりません。以上でございます。

○中山委員

では、今言われました現金残高としての利益剰余金の残高というのは今幾らぐらいあるんでしょうか。

○松尾上下水道局副理事兼財務課長

利益剰余金の残高は平成28年度末で23億5,000万円ほどになります。

○中山委員

23億円というのは1世帯2,000円でも下げることの可能な数字だと私は思うわけですが、いかがでしょうか。

○松尾上下水道局副理事兼財務課長

この利益剰余金については、その中身が、先ほど申しました減債積立金であるとか、それから建設改良積立金ですね。目的を持った積立金が含まれておまして、それは前回の決算のときにも申し上げましたけども、何度も申し上げますけども、そういう目的を持った積立金を積み立てて、将来も水道事業を安定的に経営していくための財源として積み立てるのであって、余分に利益が出たわけではないということは、ここで申し上げておきたいと思います。以上でございます。

○中山委員

将来の積立金というのはわからなくてもいいですけども、例えば浄水場、神野第一ですか

ね。そういうところの何というか、改造とかいろいろあるかとは思いますが、今現在、この市民感覚としては、やっぱりこれだけのお金があるということであれば、一定程度市民に還元すべきじゃないかというようなこともありまして、常に水道料金の引き下げというのは、市民の要求からすると高い段階にあるんですね。そこら辺の解明を。

○田中上下水道局長

私ども、ことしの3月に経営戦略を策定しまして、建設改良につきましては、おおむね100年のビジョンを組みながら、財政計画については50年という長期の中で事業計画をつくって、これから中長期的な安定した経営を持続させていこうという考えでございます。その中に当然今出ております利益剰余金につきましても、組み込んだ中でいろいろなシミュレーションをかけながら事業を安定化させていくということですので、前回も申し上げたかと思いますが、一日でも長く料金の引き上げをやらないような事業運営に努めていきたいというために、この剰余金についても充てさせていただきたいという考えでございますので、引き続きそういうふうな安定経営のために使わせていただきたいというふうに思っております。以上です。

○中山委員

今言われました料金引き上げをやらんでいいという、その見通しはどれくらいでしょうか。

○田中上下水道局長

現在立てております経営戦略でいきますと、現在の経営戦略をうまく事業進捗させたときに、次の料金改定の検討を始めるのが、ことしからおおむね12年から14年後ぐらいに検討させていただいて、そしてことしから17年目ぐらいの間には一定の方向性を出せたらというふうに思っております。

ただ、前回も申し上げましたが、その間にできるだけさらに施設の延命化等をやって、コストを下げながら行くことによってさらにその17年が20年とかという形に延ばせていくような形をですね、今後努力をずっとしていきたいというふうに思っております。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに御質疑もないようですので、第79号議案の審査を終わります。

続きまして、第80号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第80号議案 平成28年度佐賀市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について  
説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、皆様から御質疑をお受けします。よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに御質疑もないようですので、第80号議案の審査を終わります。

続きまして、第66号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第66号議案 平成29年度佐賀市水道事業会計補正予算(第1号) 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

御質疑もないようですので、第66号議案の審査を終わります。

続きまして、第67号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第67号議案 平成29年度佐賀市下水道事業会計補正予算(第1号) 説明

○野中宣明委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、御質疑もないようですので、上下水道局に関する議案の審査はこれで終わります。

職員の皆様は退室されて結構です。

◎執行部入れかわり

○野中宣明委員長

それでは、建設部に関する議案の審査に入ります。

まず、第70号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第70号議案 佐賀市営住宅条例の一部を改正する条例 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

○中山委員

施行は12月1日だけど、実際入るのは何月何日から予定されているんですか。

○樋渡建築住宅課長

12月の15日、半ばぐらいを予定しております。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに御質疑もないようですので、第70号議案の審査は終わります。

続きまして、第72号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第72号議案 市道路線の認定について 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

#### ○千綿委員

認定そのものに問題は私もないと思うんですが、以前から私言っていますが、今50戸連たん事業で、例えばずっと開発が進んでいったときに、ほとんどが行きどまりじゃないですか、開発道路は。開発がそれぞれ違う業者だったりしても、要は50戸連檐で開発された行きどまりの道がつけられるところとかも結構出てきているんですよね、逆に。やっぱり行きどまりよりはつながって出られたほうが利便性は上がるじゃないですか。そういったことを、まあ、事業負担をどちらにするかという部分は出てくると思うんですけども、そういったことを検討はしておられますか。例えば50センチぐらいしかないわけですね、そのつなげる間は50センチぐらいしかないんですけども、つなげることによって住民の利便性は当然上がると思うんですね。だから、例えば、こっち側の開発とあちら側の開発が違う業者だったとしても、もう業者に言って、そこもつなげてもらうとか、そうすることがそこに住む人の利便性は格段に上がると思うんですが、そういった検討とかいうのは、何かなされているのかなと思うんですが、いかがですか。

#### ○堤道路管理課長

今回で言いますと、ちょっと11ページのほうをお願いしたいんですけども、この終点部分、矢印になります。その左側の4区画は、もともとは別の区画として開発をされて、行きどまりとして開発をされております。その開発に対して新たに東側が追加で開発をされて、全体を佐賀市のほうに帰属をいたしまして、行きどまり道路ではなく、きちっとした形で起終点が公道に接する道路ということで認定をしております。当然、このような形では土地利用計画上、生かされる、こういったことが可能であれば、そういう道路の配置をしていただくように指導はしていきたいと、協議を進めていきたいとは思っております。

#### ○千綿委員

50戸連連檐が飽和状態になっている今、言っても道路もいかななものかという気はしなくもないし、条例で決められているわけでもないわけですよ。ですから、例えば、こういった市道認定基準の中に、できればそういったことを促していくような文言とかを入れてやるという——ここはされているからいいんですよ。ただ、されていないところがいっぱいあるわけですよ。結局、行きどまり同士が、面と向かってそこであっているところもあるわけですよ。だから、そういったことにもなるんで、やっぱりそこを何とか、例えば市道認定の要件の基準の中に入れるとか、そういったことをしていかなとつながらないところがいっぱい出てくるわけですよ。だから、そこはぜひ執行部も検討していただいて、工事していただくほうが一番ベストなわけですから、市が金を出さんでも、例えば市道認定するからここをつなげたら最優先でやりましょうとかいう部分にさせていただいたほうが利便性は上がるのかなと思うんで、これはすぐ答えは出ないと思うんで、ぜひ検討をしていただきたいなと思います。意見として。

#### ○中山委員

私道の妙常寺南分1号線ということで、私道の市道認定という基準というのは幾つかあるんですか。今回のやつで。例えば、私聞いたのは側溝がぴしゃっとしているとか、あるいは道路が1センチぐらいぴしゃっ舗装されているとか、そういうことをちょっと聞いているんですが、そういう形でここは申請が来ているんですか。

○堤道路管理課長

私道路の認定をする際に、当然ふたつきの側溝がきちっと入っているかであるとか、舗装が5センチ——佐賀市のほうに帰属しまして2年間は補修を要しない構造をしていることであるとか、あと、水路に面するところにつきましては、適切な擁壁を施工されている、当然幅員は4メートル以上ということで認定の基準はございます。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに御質疑もございませんので、第72号議案の審査を終わります。

続きまして、第63号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第63号議案 平成29年度佐賀市一般会計補正予算(第2号) 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

○千綿委員

37ページのところの道路の件なんですけど、工業から北高までをどん<sup>3</sup>の森に変更した理由というのは何なんですけど、それをお答えをいただきたいというのと、もう一つ、少年刑務所の横の道なんですけど、それを細分化して小さく区切ってされるということなんですけど、その区間だけの設計をされるんですか。全体設計は1本でやって、あとその区間は区間で別にいいと思うんですけども、何かその区間だけメートル数ごとにその設計というのをずっとやっていくという方法なんですけど、何か設計は1本でできるような感じがするんですけども、そこら辺ちょっと2点。

○姉川建設部副理事兼道路整備課長

まず1点目、大財町北島線につきましてですけど、国の内示が大財町北島線に直接金額がついたために、当初、北高から工業までの間を計画していましたが、金額がオーバー、それより余計ついたということで、私どもも2カ所で工事をするとどうしても渋滞がひどくなるということで、場所を変更させていただいて、どん<sup>3</sup>の南側に変更させていただいて、そこをやりたいということで今考えております。

もう一点の八戸天祐線につきましてですけど、今、207号との国の協議の中で、付加車線の問題がありまして、付加車線をどうするかという、207号にどうしても付加車線が必要になってきます。薄く建物がかかったり、いろんなものが出てきまして、県との協議の中で何とかそういったもの縮減できないかというような協議を今現在行っております。そ

れには都市計画変更も伴うような結果になってきますので、その部分については、3工区として事業を少しおくらせて、一部の区間を2工区として事業認定を行いたいと思っております。大もとは、全線の概略測量は行っております。その中で、路線の決定をやっておりますけど、詳細測量を行って、詳細測量後に事業の認定というような形になりますので、そういったことで進めさせていただいております。

○千綿委員

いやいや、段取りはわかります。段取りはわかるんですけど、その詳細設計の部分で区間を区切られているじゃないですか。区切られているところだけを詳細設計していくんですかって。全体で、例えば、大体そんなにめちゃくちゃ変わるということはないと思うんですけども、もう1本でぼんと道路の詳細設計をやって、区間を決めるというのはわかるんですけど、別々にやると何か高くなりそうな気がするんですけど、そこら辺大丈夫なんですか。

○姉川建設部副理事兼道路整備課長

費用の面につきましては高くなるということはないんですけど、道路の線形の場合は1路線、全体を概略測量をいたしまして、概略設計を組みます。中心線とかを全部決めていきまして、あと詳細の構造物とか、そういったものについてはやっぱり詳細の測量と設計をやっていくという形になります。そういったことで2工区分について、1工区の分、2工区分、3工区の分とおのおのやっていくというような形になります。

○山下伸二委員

同じ37ページの上のところの道路ストック改善事業のLED化のところですね、今回、国の交付額が増額になったということで、恐らくLED化が162基から335基ということなんですけど、これ全体の自歩道照明の数と、平成28年度までの整備数とをちょっと教えていただけますか。

○堤道路管理課長

増額になったというか、もともと国の内示額が非常に低い状態がありまして、あと昨年度に11月で補正をいただきました。それが平成29年度の前倒しということで、要望額に対して予算の計上を小さくさせていただいておりますので、それを内示額、交付決定額に合わせて調整を行うための補正を今回出させていただいているところです。

LED化につきましては、平成28年度までに9,044基、全体が約9,000基になっております。その中で、2,413基が完了しておりますして、約27%の整備率。平成29年度末の予定としまして2,748基が完了するというので、30.4%を予定しているところでございます。

○山下伸二委員

予定よりもふえるんですけども、地元の電気事業者の方、電気工事業者と話していると、余りに一遍に来て、なかなか仕事が人手が足りなくて受けられないという話を聞くわけですね、市内の事業者の方から。そういったところへの配慮というのはどういうふうにし

れているんですか。要はもう一遍に余り来過ぎて、受けたいけど受けられないので、ほかのところに回してもらおうと。例えば、工事期間を長くしてもらえば、それだけ均等割してできるんだけど、そういう話を聞くんですけれども、そういった話は聞かれているのか聞かれていないのか、それに対する何か対応されているのかどうか。

○堤道路管理課長

施工量的に多過ぎるとかいう声はちょっと聞いてはないんですけれども、そのあたり、業者、電気事業者の方になります。通常の維持点検とか行われておりますので、ちょっと発注の仕方については、そのあたり業者の御意向というか、考えを確認した上で発注はしていきたいとは思っております。

○山下伸二委員

交付金決定で約2倍以上になっていますんで、その辺については、恐らく交付金ですから、3月までに施工しなくちゃいけないと思いますんで、残り半年しかないわけですから、その辺のところはぜひ発注する際にきちっと業者のほうと十分調整をしていただきたいということを要望しておきます。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

○中山委員

先ほどの37ページの金立花久保線道路整備事業で、マイナス1,800万円で、舗装を来年度にというふうな話だったと思います。その理由は何かあるんですか。

○姉川建設部副理事兼道路整備課長

国の内示額の調整による減額になりますけど、内示額というのは、パッケージといいまして、例えば通学路であったりとか、橋梁の修繕であったりとか、通常の改良舗装であったりとか、そういったグループ分けをされて、その中で内示が来ます。その内示の中で、うちが数本路線がありますので、その中で、最終的にどの事業に振り分けるかというのを最終的に事業進捗を見ながら考えていきます。今回の分は植木橋木角線のほうが、用地が進捗したことで、そこを優先的に配分したことによって、金立花久保線のほうに少し舗装を来年度に回すというような調整が入ってきております。

○中山委員

いわゆるその道路整備課内部での変換というか、そういうことですかね。

○姉川建設部副理事兼道路整備課長

そのパッケージ内の路線への配分は市・町のほうに任されております。裁量権としてですね、この交付金事業は。その中で、私どももその路線の進捗状況を見まして、まず第一に用地をやっぱり相談をしておりますので、その進捗状況を見ながら、相手のほうに御迷惑をおかけしないような予算の配分をまず第一に考えて予算の配分をしております。

また、交通どめ等で多大な御迷惑をおかけしている区間についても、そういったものを



重点的に配分を行うというようなことで今のところそういった路線間の調整を行っているところでは。

○松永幹哉副委員長

この金立花久保線、もう随分とできて、そのままほったらかしというか、あとつながってない部分があって、また舗装が延びると。これは地区の、地域の自治会等に説明をきちっとしておくようにしてください。早く通るよという待望論があります。ですから、それは説明を、何でそうなったのか、納得されるように説明をお願いしておきます。以上。

○姉川建設部副理事兼道路整備課長

地区のほうには十分説明をしたいと思います。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに御質疑もないようですので、第63号議案の審査はこれで終わります。

続きまして、第10号報告について執行部から説明をお願いします。

◎第10号報告 専決処分の報告について 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

○中山委員

何か道路舗装の剥がれというのが、ずっと言われておりましたけども、道路パトロールとか、そこら辺が抜かりなくやられてなかったという点でそうなっているんですか。

○岩永建設部副理事兼北部建設事務所長

道路パトロールを定期的に行うほか、通勤時等、職員による道路の見回りといいますか、点検等を行っておるところでございますが、今回の事故の箇所につきましては、事故発生の朝には舗装の剥がれはありませんで、その日のうちに発生したという状況だと考えております。

○中山委員

日常的なパトロールでの問題はなかったということですか。

○岩永建設部副理事兼北部建設事務所長

パトロールを毎日行っているわけではありませんけれども、月に何回か集中的に行うほか、現場に行ったり、職員の通勤時に見て回っておりますけれども、その際に発見できたものについては早急に補修を行うようにしておりますが、この件については見つけられなかったということでございます。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

○千綿委員

今、千葉市ではビッグデータを解析して、要するにナビとかと連携させて、ビッグデータで補修箇所とかを特定、何というんですかね、やりよるわけですよ。そがんとも今後——見回りよるって全部見回り切るわけじゃなかじゃなかですか。そういうとも研究課題として持つておったほうがいいと思いますよ。というのは、千葉市なんかは、ナビの会社だったと思うんですけど、提携をしてビックデータから道路の補修箇所を解析するという方法も取り入れられているようですので、そういったことも含めて今後は、やっぱり全部人的には無理だと思うんで、そういったこともやっぱり研究課題として持つていただきたいなと思います。要望として。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

○松永幹哉副委員長

ちょっと1点だけ。資料の作成で、9号報告は、交通事故等については詳細な資料がついているんですけども、10号については、口頭で今回報告があったんですけども、それは明確な資料の作成等について、統一したやり方か何かあったんですかね。

○志満建設部長

9号報告については、多分公用車に係る案件だと思います。専決処分報告については、統一した形での書類作成ということで、総務部のほうが所管して、そういうふうな指示を出しておりますけども、特に10号報告については、資料等の作成について統一した形というような指示等はちょっと上がっておりませんので、ちょっと9号報告の資料がどういう内容のものか、ちょっとそれを確認させていただきたいと思います。

○松永幹哉副委員長

説明で、その割合とか、その内容がわかるように、9号ではわかるように改善をされたと思うんですけども、10号も同じ説明をするのであれば、説明資料があったほうがわかりやすいと思いますので、その辺検討をお願いします。

○志満建設部長

ちょっと確認させていただいて対応させていただきたいと思います。

○野中宣明委員長

ほかございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに御質疑もないようですので、第10号報告に関してはこれで終わります。

では、退室されて結構です。

◎執行部入れかわり

○野中宣明委員長

それでは、環境部に関する議案の審査に入ります。

まず、第78号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第78号議案 財産の取得について 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

○千綿委員

土地の取得の件なんですけど、そもそも論なんですけども、アルビータが造成して買うんですよね。その契約とかは、もうできていましたっけ。例えば協定とか、そこら辺の書類とか、そこをちょっと確認で。

○本山環境部理事兼バイオマス産業都市推進課長

最終的には用地買収して基盤整備をして売り渡すということで、そこで契約ということになります。今現在は、アルビータの親会社、シンシアのほうから土地の購入の申し入れというのをいただいております。この内容につきましては、実印、印鑑証明の添付でいただいております。

○千綿委員

ということは、そこを造成した後は、絶対そこを買い取りますよという担保がとれているという理解でいいんですか。

○本山環境部理事兼バイオマス産業都市推進課長

そのとおりだと思います。

○山下伸二委員

確認なんですけども、土地を購入して造成をしますよね。それで売り渡しますよね。その差額というのは、要は佐賀市がかけたお金、企業に売り払う、売却をする額というのは差額が生じないということでもいいですか。

○本山環境部理事兼バイオマス産業都市推進課長

差額は生じないと考えております。

○山下伸二委員

残りの70平米ですね、0.03%のところ。引き続き交渉を行って、議会のほうに報告をしますという話だったんですけども、見通しはどうなんですかね。逆にこれが長引くようであって、造成全体が進まないとか、売却がおくれるとか、そういったことにならないのかどうか、その辺のところを。

○本山環境部理事兼バイオマス産業都市推進課長

今回の70平方メートルの法定相続人が28人おられます。現在のところ、契約を了解いただいている方、契約をいただいた方が14名ということで、半分はいただいております。我々としては年内に全て契約を終わりたいということで今動いております。

○野中宣明委員長

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに御質疑もないようですので、第78号議案の審査は終わります。

続きまして、第63号議案を審査しますので、執行部から議案の説明をお願いします。

◎第63号議案 平成29年度佐賀市一般会計補正予算（第2号） 説明

○野中宣明委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、御質疑もないようですので、環境部に関する議案の審査を終わります。

職員の皆様は退室されて結構です。

◎執行部退室

○野中宣明委員長

それでは、以上で本委員会に付託されました決算議案以外の議案に関する審査を終了いたしました。

決算以外の議案の審査に関して、現地視察の御希望はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なしという御意見でございますので、それでは現地視察なしということにさせていただきます。

それでは、続きまして9月5日の委員会において取りまとめた決算審査における意見・提言についてですが、19日の委員会において附帯決議として採決した上で、9月25日の本会議において、決議案を委員長名で提出する運びとなっております。附帯決議案についてお手元に配付しておりますが、先日取りまとめた意見・提言を行う理由・背景については、昨年と同様に、決議文には載せず、市長に送付する際の資料として添付することになります。

つきまして、正副委員長において、意見・提言について必要な文言の補足や不要と思われる文言の削除を行い、案文の整理を行いましたので、御確認いただきたいと思います。今お手元に配付している分です。

◎ 意見・提言対象案件に関する委員間協議

○野中宣明委員長

それでは、この案文で19日に採決を行いたいと思います。

続きまして、9月5日の委員会において取りまとめた所管事務調査報告書についてですが、19日の委員会において、採決した上で、9月25日の本会議において委員長名で報告する運びとなっております。

報告書について、お手元に今配付をしておりますが、正副委員長において必要な文言の補足や不要と思われる文言の削除を行い、案文の整理を行いましたので、御確認をいただきたいと思います。

少し文面長いんですけど、細かな文言と、あと言い回しをこちらで適正に対処させてい

ただいていますので、中身はもうほとんど変わっておりませんので、御了承いただきたい  
と思います。

それでは、この文案で運んでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、これでいきたいと思います。

これで本日の建設環境委員会は終了いたします。

次の委員会は9月19日火曜日、午前10時から付託された全ての議案の採決、まとめを行  
いたいと思います。

平成 年 月 日

建設環境委員長 野 中 宣 明